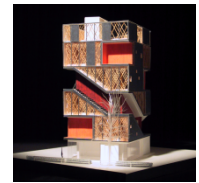


日本の森の中心～岐阜～で切り開く木造の未来 (防耐火編)

公共建築物木材利用促進法の制定など、木造建築の振興に向けて様々な取り組みが進められています。こうした流れの中で、木造建築にどんな可能性が開かれつつあるのか、また、今後、どんな取り組みをしていくことが、木造建築の可能性を更に引き出すことになるのか。日本建築学会大会が9年振りに東海地方で開かれるのを機会に、日本の森の中心・岐阜で長年培われてきた実績や実力が活かされて進められている大規模伝統木造建築、木造三階建て学校などのプロジェクトを手掛かりとして、最先端の取り組みや考え方、諸制度の動向を共有し、岐阜発の木造の可能性を探りたいと思います。



■プログラム

- 13:00 開会 主催者挨拶
- 13:05 基調講演 “新しい木造建築の可能性” 長谷見雄二 (早稲田大学)
- 14:00 話題提供
- 1.公共建築物への木材利用促進と木質耐火建築 原田寿郎 (森林総研)
 - 2.木造3階建て学校プロジェクトと準耐火木造の可能性 安井昇 (早稲田大学)
 - 3.新たな木質素材による中層建築物の研究開発 鈴木淳一 (建築研究所)
 - 4.大規模伝統木造建築を継承・発展させるための研究開発 亀山直央 (亀山建設)

-休憩-

- 15:30 パネルディスカッション “岐阜発の木造の可能性を探る”
司会 安井昇 (前掲)
パネラー 長谷見雄二 (前掲)、原田寿郎 (前掲)、鈴木淳一 (前掲)、亀山直央 (前掲)、
中通実 (岐阜県林政部)、吉村嘉隆 (中島工務店)、大石佳知 (アーキ・キューブ)

【日時】平成24年9月15日(土) 13:00-17:00 (12:45 受付開始)

【会場】岐阜市民会館 大集会場 (定員 80名)

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地

<http://gifu-civic.info/>

岐阜駅より

- ・岐阜バス「市民会館・裁判所前」下車すぐ
- ・徒歩 25分

(市民会館の駐車場 35台(無料)、周辺に有料駐車場あり(上記HP参照))

【主催】(社)日本建築学会防火委員会 住宅の火災安全小委員会

【後援】岐阜県木材協同組合連合会 社団法人岐阜県建築士会

【参加費】建築学会会員 1000円、建築学会会員外 1500円、学生 500円 (当日受付にてお支払い下さい)

【申し込み先】 info@e-kameyama.jp へ、氏名、勤務先・所属、電話番号、参加費種別を明記の上お申込下さい

